

日 時：平成 31 年 1 月 24 日（木）18 時 30 分 ～20 時 05 分
場 所：平賀農村環境改善センター
対象地区：藤野・南田町
出席人数：5 名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○テニスコートの使用について</p> <p>（市民から）</p> <p>夏場のテニスコートを見ると使用されていない日、時間帯が見られる。一方で大会が近くなり、練習しに行くと混んで使えず空戻りしてしまう人もいるようだ。</p> <p>現在、テニスコートは団体での予約しかできないようだが、利用者からは個人での予約ができれば良いと聞く。また、空き時間がわかれば有効活用できると思うのだが。さらに、夜間の照明代が高いので 1 時間単位の利用を 30 分単位に変更することはできないか。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・有効に活用していただきたいと考えているので教育委員会に確認してみる。テニスコートは現在教育委員会で管理しているが、ドーム、陸上競技場など含め、ゆくゆくはスポーツ協会に指定管理をする方向で動いている。尾上地域のテニスコートは、現在スポーツ協会で指定管理しており、B&G 尾上体育館で予約ができる。・テニスコートは市のホームページ、体育館とプールについてはスポーツ協会のホームページで予約状況の確認もできる。相互リンクは可能だと思うので、意見があったことを伝える。
<p>○移住促進活動について</p> <p>（市民から）</p> <p>先日東京で行われた事業に市長とともに参加した。平川市に若い人を受け入れるというのは、人口が減少する中で大切なことだと思う。私たち市民もできることがあれば協力する。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・人口減少への対策としては、出て行く人を減らすこととともに、入ってくる人を増やさなくてはならない。地方は全国的に少子高齢化社会であるので、市も移住促進を実施している。今年は東京のみならず、大阪でも実施したいと計画している。市では 6 年ほど前から移住者を含めた子育て世代の住宅支援をしている。支援を受け、市外から平川市に家を建てた人は約 120 名いる。支援を受けずとも市外から家を建てて移住してくる方もいる。その方々が地元の人とコミュニケーションが取れるような環境づくりもしなければならぬと思っているので、これからも協力をお願いしたい。

○市で設置している気候計測システムについて

(市民から)

先日、平川市役所にドコモ製の雨量、風向を記録できるシステムを設置していると聞いた。その情報を一般市民が閲覧できないものか。天気予報で見る平川市は碓ヶ関地域のデータなので平賀地域周辺とは様子が違うのではないかと感じており、黒石市、弘前市の情報を参考にしている。市は防災目的で設置していると思うが、生産者として黒星病対策に活用したい。

(市から)

- ・気象庁の観測所が市内には碓ヶ関地域、近隣には黒石市、弘前市にある。県の観測所はアップルランドの近くにあるが天気予報には反映されていないのもどかしい思いをしている。气象台にお願いしたことがあるが、観測点を移動することは難しいようだ。
- ・現在平賀地域周辺の風速データを知りえることが出来ないため、今年の降雪期前に一週間程度、ドコモの観測機を本庁舎屋上に試験的に設置したことがある。おそらくそのことを指していると思われる。観測したデータは、ネット経由でパソコン等において確認できるようになっている。
- ・このシステムに関しては、次年度導入すべく予算要求をしているところである。設置時期は5月から11月までの7ヶ月間、台風と豪雨対策として風速等のデータをリアルタイムで確認できるシステムである。ただ民間への公表については難しいかもしれない。

○生活道路の除雪について

(市民から)

ブルドーザーが道路の真ん中だけを除雪するので、家の前に雪を残してゆく。1度しか通らないので往復するなどできないものか。硬い雪の片付けは高齢者にとって大変である。また、除雪する基準もよくわからない。雪が降っていないときに除雪が入ることがある。

(市から)

- ・市の基準では10cm以上の積雪、または積雪が見込まれる場合に夜間除雪をしている。平川市は近隣市町村に比べ除雪は良いと聞いている。その一因は距離ではなく、時間で費用を算出しているためと感じている。ご指摘のとおり、場所によっては真ん中だけ除雪しているところも見かける。除雪の意見で一番多いのが家の出入口に雪が塞いでいるというものだ。これについて1件1件役所で対応することはなかなか難しい。
- ・福祉課が社会福祉協議会とタイアップして小規模除排雪事業(社協が窓口)をやっている。内容としては高齢者宅へのボランティアによる除排雪である。その他、市のコミュニティ助成事業(企画財政課が窓口)も除排雪は対象となっている。いずれにしても町会等地域の互助により活用していただきたい。

(市民から)

黒石市、弘前市にも行くが、平川市は丁寧に除雪している。

(市民から)

市で小型除雪機を町会にリースする仕組みを考えてもらえないか。行政だけではなく我々も出来ることはやっていきたい。

(市から)

- ・市では大きな除排雪機は業者に貸出しているが、小型の除雪機となると台数をどのくらい用意したらよいかという問題がある。隣近所で除雪機を持っている方たちにやっていただけるとありがたい。実際にやっている事例も見受けられる。

(市民から)

歩道が除雪されていないところがあるので除雪をしてもらいたい。また排雪も大変なので流雪溝を作ってもらいたい。

(市から)

- ・歩道の除雪は通学路を優先的に実施している。それ以外の場所はなかなか手が回らないのが現状である。
- ・流雪溝は設置したいのだが、設置費用が普通の側溝の倍以上かかることや、水の入排水が可能な場所など地理的な条件があるため設置できずにいる。

(市民から)

公設の雪置き場は遠いため、町会の空き地などに雪置き場を設けられないものか。

(市から)

- ・各町会に雪置き場があればいいのだが、空き地を貸してもらえるかという問題があるうえ、雪置き場は湿気が発生しやすく近隣住民からの苦情が予想されるため設置は難しい。

○県道小国本町線の段差の解消について

(市民から)

桑田鉄工商会前の県道に段差があり、車が通行するたびにガタッと音がする。音は段々酷くなっている。その付近だけでなく、給食センターの方まで響くと聞いた。

(市から)

- ・現場確認をする。

○新庁舎のオイルダンパーについて

(市民から)

新庁舎のオイルダンパーは市が希望したものか、日本で起きている地震の規模を見れば、地中に杭を打ち込む工法で十分だと思うし、そうすることにより工費も安くなるのではないか。

(市から)

- ・新庁舎の設計者については募集をかけたところ全国から 12 者の応募があり、市の選定委員会で 5 者に絞った。その 5 者でプレゼンを行い 1 者に決まった。その業者が免震対策としてオイルダンパーを提案している。
- ・オイルダンパーは免震のために建物の基礎のほうに設置するもので、三角形の三辺に一箇所ずつ、計 3 箇所を設計している。ただし、データの改ざんが見つかったためオイルダンパー自体を採用するかどうかはまだわからない。使えないとなると粘性ダンパーを使用する。またはダンパーを使用しない設計を考えなければならない。杭については、ご意見として伺っておく。

○尾上分庁舎・碓ヶ関総合支所の今後について

(市民から)

新庁舎が出来た後、尾上分庁舎・碓ヶ関総合支所はどうなるのか。

(市から)

- ・新庁舎完成後、現在尾上分庁舎にいる教育委員会・経済部・建設部が移り、総合支所の部分だけが残る。3 階の一部は通級指導教室として活用しているので、いなくなったスペースの活用については、これから委員会を開くなどして検討していく。地域住民からは人が集まり、賑わいが作り出されるような場所にしてほしいとの要望が出されている。方向性が決まれば、改築等も必要になるかと思う。
- ・碓ヶ関総合支所は建物自体が古いので、碓ヶ関公民館に支所機能を移転する作業をしている。エレベーターを新設するなど支所としての利便性を高めるために改築をしている。現支所は取り壊して小・中併置校にする予定である。

○町会加入について

(市民から)

当町会是新築やアパートが増えてきている一方、新住民は町会に加入しない。回覧板もまわすことがないので隣近所のコミュニケーションをとることが難しくなっていると感じている。災害が起きたときに隣近所の協力は大事だと思うのだが。

(市から)

- ・移住者を増やすため様々な事業を展開しているが、新たな風が入ってきて地域がよくなる場合もあれば、移住者が地域に馴染めない場合と両方ある。市では地域に馴染んでいただけるよう、町会加入をお願いしている。特にアパートに住んでいる人は、いずれ転

出すという理由で町会加入には消極的なようである。

(市民から)

町会への強制加入は出来ないものか。

(市から)

・当人の気持ちの問題もあるので強制、半強制は出来ない。

(市民から)

町会に住んでいることで恩恵を受けていると感じている人が少ないのも、未加入の原因かもしれない。

(市から)

・強制は出来ないが、市からは、町会ではゴミ集積所の清掃をしたり、街灯の電気代を負担していることを紹介するチラシを転入時に市民課窓口で配布し、町会加入のお願いをしている。町会加入した方には「生活支援グッズ」としてゴミ袋などをプレゼントする取り組みも行っている。

○東京五輪と青森国体について

(市民から)

来年は東京五輪、2025年には青森国体があるが、平川市は会場や合宿、練習場となる予定はあるのか。平川市は少年スポーツが盛んな印象があるので、トップ選手のプレイや練習に触れることでよい効果が生まれるのではないかと思う。

(市から)

・国体は正式種目のウェイトリフティングが実施される予定である。グラウンド・ゴルフ、エアロビも実施したいということで希望は出している。
・五輪の合宿地や練習場となる予定はないが、2年ほど前から実業団ソフトボールチームが、合宿地として利用している。屋外での練習場のほかドームもあるので、雨天時も練習ができて助かったと聞いている。新体育館が出来れば、周辺が総合体育施設として整備されるので、県外から実業団等の利用は増えると思う。

○ねぷたまつりについて

(市民から)

平川市のねぷたまつりは2日間で終わってしまう。もう少し長くできないものか。弘前市よりもまつりの内容がいいと思っているので、もったいない感じがする。

(市から)

・ねふた団体の協力があれば、会期の延長も可能である。人気があるので3日間にできないかとの話もあるが各団体は2日間の合同運行のほか、地元でも運行しているので疲れてしまうようだ。昨年初めて、お盆に帰省する人にもねふたを楽しんでもらおうと8月14日に「あどのまつり」を開催した。子ども達がたくさん見に来てくれたので、今後も続けたいと思っている。会期の延長について意見があったことは伝える。